別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和6年11月21日

会議の名称	令和6年度第1回志木市地域公共交通連絡調整会議
開催日時	令和6年11月21日（木） 14時00分～15時00分
開催場所	大会議室3-3
出席委員	松田政策推進課長（会長）、園原都市計画課長（副会長）、的場共生社会推進課長、坂井委員、松本委員、國崎委員、岡田委員、瀬戸委員、西木委員 出席者：松永市長公室長 (計10人)
欠席委員	内田委員、小山委員 (計2人)
説明員職氏名	村山政策推進課主事 (計1人)
議題	(1) 会議の趣旨・本市の交通政策に係る事業の実施状況について (2) 本市の地域公共交通についての意見交換
結果	今後も本会議を開催し、交通事業者、関係行政との意見交換を行う中で、本市における今後の施策等を検討していくこととした。
事務局職員職氏名	中森政策推進課主席主幹、渋谷政策推進課主席主幹、村山政策推進課主事
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 あいさつ

松永市長公室長よりあいさつを行った。

3 議 事

議事進行ににあたり、会長の松田政策推進課長より副会長に園原都市計画課長を指名した。

（1）会議の趣旨・本市の交通政策に係る事業の実施状況について

村山政策推進課主事より、会議の趣旨・本市の交通政策に係る事業の実施状況について説明を行った。

（2）本市の地域公共交通についての意見交換

会長：委員の皆様が所属する団体においての課題等も踏まえて、本市の公共交通についてのご意見を伺いたい。

委員：令和5年に志木市が「交通政策に関する基本方針」を策定し、今後の交通政策に係る方向性が示されたことで、弊社としても事業の方向性を明確にすることができた。また、2024年問題に際した運転士不足等により、各地域で路線等の見直しを行った。今後も適正な運営を行っていく。

委員：運転士不足が課題であり、一部の地域の路線から撤退を余儀なくされている現状がある。

委員：運転士不足、現在所属している運転士の高齢化が進んでいることが課題である。また、燃料価格の高騰への対応も課題である。

委員：全国的にもバス、タクシー事業とも運転士不足であることは認識している。日本版ライドシェアの県内の動きとしては、行田市が特定の曜日、時間帯にタクシー車両が不足しているとして、日本版ライドシェアを活用できるよう申し出を行った。

会長：行田市のような事例は今後、増加していくのか。

委員：行田市は、終電が午前0時過ぎまでにあるにもかかわらず、タクシーの運行時間がそれより前に終了する状況にあり、タクシーが稼働していない時間帯があるという特徴がある。

会長：日本版ライドシェア参入について、検討状況や参入における課題等をお聞きしたい。

委員：システム、決済方法等の対応が必要であることや、人員確保等の課題があり、現状での参入予定はない。

委員：全体的に、運行管理者の配置、運転士の確保が大きな課題となっている。2種ではなく1種免許で運行可能だとしても運転士の確保は難しい。

委員：志木市は夜間にタクシーが不足しているのか。

委員：雨天等の繁忙日でない限りは、大きな不足はない認識である。

会長：委員の皆様が所属する団体等において、新たな事業や取り組み等の予定があれば伺いたい。

委員：運転士の確保が難しい中で、既存路線の維持に注力している。限られた人員、費用対効果を加味するとより多くのお客様を輸送できる大型車両の運行を行うことが主の施策となる。

会長：志木市におけるバス路線の充実度についてはどのように捉えているか。

委員：県内においても、志木市のバス路線は充実している認識である。

委員：運転士不足であるため、新しい路線を開始するのは難しく、既存路線の維持に注力している。

委員：「交通政策に関する基本方針」においても触れられているが、志木市の現状においては、コミュニティバス等を導入することは民業圧迫につながりかねないという印象である。

会長：公共交通が充実していない地域への対応としては、コミュニティバス等を導入し、路線を通すだけでなく、移動スーパー等の取り組みも有効であると考えている。

委員：公共交通が充実していない地域においても、民間の移動スーパーや病院等の施設の送迎バスがあることで、市民の生活が成り立っている例もある。

会長：市への要望等を伺いたい。

委員：デマンド交通の利用需要に対し、タクシー数が不足する時間帯がある。デマンド交通については、1回の利用で複数の配車予約を行うなど誤った利用をされている方もいらっしゃるので、適切な利用方法を周知していただきたい。

委員：適切な周知を行なっていく。

委員：運転士不足が大きな課題であるため、人員確保のための広報について、支援や協力をお願いしたい。

会長：他市の事例では、公共交通の担い手不足として、交通事業者のホームページのリンクを市ホームページに掲載している例もあることから、市ホームページ等を活用した周知を検討する。

委員：運転士不足により採用活動を強化しているところであり、経験の浅い運転士手も多くなっている。そのため、走りやすい道路環境の整備をお願いしたい。

会長：担当課へ要望内容を伝える。

会長：高齢化等の進展等により公共交通に係る状況は変わっていく。その中で、交通事業者、関係行政と意見交換を行いながら、今後の施策等を検討していきたい。

～結論～

今後も本会議を開催し、交通事業者、関係行政と意見交換を行う中で、本市における今後の施策等を検討していくこととした。

4 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。